

平成30年度



白川小だより

第9号 平成30年11月26日(月)

健康な歯は「生きる力」の源 ～歯科保健優良校として表彰されました～

校長 奥村 哲也

11月18日(日)に行われた岐阜県学校歯科保健研究大会において、「学校歯科保健優良校(準県1位)」の表彰を受けました。子ども達の歯や口の健康状態と歯科保健活動への取組が認められての受賞です。

本校では、これまで、学校歯科医の中島正人先生にご指導いただきながら歯と口の健康作りに取り組んできました。中島先生には、歯科健診だけでなく、各学級で虫歯予防にかかわる授業をしていただいたり、職員研修で歯科保健活動について講話をしていただいたりしています。また、歯科衛生士の中島佐紀子先生には、何度も何度もブラッシング指導に来ていただきました。



ブラッシング指導の様子

子ども達は、毎朝、朝の会で「あいうべ体操」をし、給食後には、大型モニターに映し出されるアプリに合わせて歯磨きをします。「8」のつく日には、各学級で染め出しを行って歯磨きの上手さを競いあい、一番きれいに磨けていた児童には金メダルが贈られます。生活委員会は児童集会で虫歯予防について発表をし、図書委員会は図書館に「歯の本コーナー」を作りました。ご家庭でも「ファミリーカラーテスト」に取り組んでいただきました。

こうした取り組みの結果、6年生の「DMF指数(永久歯の虫歯経験指数)」は「0」。6年生は、永久歯になってから一人も虫歯になっていないことを示しています。

歯科保健研究大会では、大会長から「生活習慣病の素地は学齢期から始まると言われており、学校における健康知識の育成と健康行動の確立が重要である。歯と口の健康保持は、『食』と『会話』という人間生活の根幹に関わる『生きる力』そのものであり、『生き抜く力』を身に付けるべく、児童生徒の歯と口の健康に携わる関係者の責務は大きい。」との挨拶がありました。学校における歯科保健活動の大切さを改めて認識し、身が引き締まりました。

私事ですが、時々、歯が痛みます。かかりつけの歯科医からは「歯磨きをもっとしっかりやらないとだめですよ」とお叱りを受けています。いい加減な歯磨きになっている自分を反省しなくてはなりません。みなさまの歯はいかがでしょう。

学校では、「生きる力」の源である歯と口の健康のために、歯科保健活動をさらに充実させるよう努力して参りたいと思います。今後ご理解、ご協力をお願いします。